

# 社会福祉法人 札幌緑花会

## 療養介護・医療型障害児入所施設

### 大倉山学院



支援課長 永森氏



支援課長 鈴木氏



支援課長 小川氏



スマートキャッチ  
パッドタイプ

リフレスマートラインのスマートキャッチパッドタイプをお使いいただいている、北海道小樽市の「療養介護・医療型障害児入所施設 大倉山学院」様にご訪問させていただきました。大倉山学院は、道内初の重症心身障がい児施設として昭和40年に開設されて以来、「施設づくりは終わりのない取り組み」という想いの元、ご利用者様がより豊かな生活を送れるよう施設の環境整備に取り組まれてきました。常に時代の流れやニーズの変化に対応し、現在は通所事業や短期入所などの在宅支援事業も積極的に展開されています。

今回はスマートキャッチの採用の経緯から、現在のご使用状況を含めて、支援課長の永森さん、鈴木さん、小川さんにインタビューしました。

#### 1枚でモレない高吸収パッド スマートキャッチ

まずは現在のご使用状況を教えてください。

永森 「おむつを使用しているご利用者さんに対して、以前はリフレのサラケアワイドロングを中心に使用していました。尿量の多い方には、それにプラスしてすきまびったりシートを何枚か使って対応していたのですが、今はその方の尿量に合わせて、サラケアワイドロングかスマートキャッチの6回分、8回分を使い分けているという状況です」

導入いただくまでの経緯を  
教えていただけますか？

永森 「モレないように…ということで、すきまびったりシートを何枚もあてたりしていたんですが、ご利用者さんも、ゴワゴワして気持ち悪いだろうし、職員としてもおむつ交換に時間がかかってしまって大変で…。そういう状況を変えたいと以前から思っていたんです」

そこでスマートキャッチに  
出会われたわけですね？

永森 「スマートキャッチをご紹介いただいた時に、『いい機会だから、ご利用者さん全員の尿測をしよう』ということになって、尿量を把握した上でそれぞれに合うパッドを選んでいきました」



鈴木 「職員で協力し合って1週間かけて尿測をしました。そしたら夜間、尿量が多い方もスマートキャッチ8回分でカバーできることがわかりました」

スマートキャッチがあることで、何枚も  
パッドをあてなくて済むようになったと？

永森 「そうですね。これまで多い人だと、テープ止めタイプのおむつの中に5枚くらいパッドを入れていたりしたのですが…」

鈴木 「尿測して、尿量にあったパッドをきちんとあてることで、1枚でもモレもなく使うことができるってわかったんです」

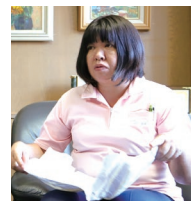


#### すっきり不快感なし、 スキントラブルもない オールインワンパッド

実際に使い続けていただいて、  
その後どうですか？

鈴木 「その人の尿量にあったパッドをつけることで、モレもなくなりましたし、交換回数も減りました。夜間の交換が減ることで、ご利用者さんも朝まで熟睡できるようになって…。スマートキャッチは高吸収なのにうすくてすっきりとしているので、何枚もパッドをあてている時に比べたら、不快感なく眠っていただけになったと感じます」

小川 「スマートキャッチは股の部分がかびれているので、足が閉じやすく無理のない姿勢で過ごしていただけているのも大きいと思いますね。パッドを何枚も使っていた頃より、職員のおむつ交換の手間も減ったと思います」



コンセプトどおりに使っていただけていて、  
メーカーとしても嬉しい限りです。

鈴木 「確かにほとんどのご利用者さんに使わせてもらっていますね。男性には陰茎をくむようにあてたり、前からモレてしまう方にはパッドの広い面を前にしたりして、ご利用者さんによってあて方も工夫しています」

ご利用者様の状態にあわせて、  
使い方を工夫されているんですね。

永森 「尿量が多くて肌の弱い方がいて、以前はいろいろと試行錯誤していましたが、スマートキャッチはいいですね。弱酸性の素材を使っているということで、しかも他の夜用のパッドよりもうすくてすっきりフィットする。そう考えると、スマートキャッチはモレが減り、スキントラブルもなくて、ご利用者さんにとって万能なパッドですよ」

#### スマートラインで排泄ケアの 効率化、ケアの質的向上へ

スマートキャッチを使うようになって  
業務負担の軽減は感じられますか？

永森 「すごく感じます。以前は夜間にモレがあると、ご利用者さんの負担にもなるし、職員の負担にもなるということで、モレないようにパッドを何枚も入れたりして。そうするとおむつ交換にかなりの時間を割くことになって…悪循環になっていました」

鈴木 「夜間スマートキャッチ1枚でモレなくなったのは、ご利用者さんはもちろん、職員にとっても大きかったですね。モレが減ったり、おむつ交換の時間が短縮されたことで、職員にゆとりが出て、ご利用者さんとゆっくり会話ができるようになって…。排泄ケア以外のところで時間を使うことができるようになりました」

永森 「やっぱり職員がストレスを抱えてしまうと、いいケアにはつながらないと思うんです。こういうコンセプトの商品は職員にとっても、ご利用者さんにとっても、すごく有り難いですよね」

ありがとうございます。今後も介護の現場を  
より良くできるような商品づくりに努めてま  
いります。

本日はお時間をいただき、ありがとうございました！